

**J-STAGE
JATS バージョンアップ対応
(0.4→1.1)
リリースノート**

**平成30年11月
知識基盤情報部**



科学技術振興機構

はじめに

■ JATSとは

JATS(Journal Article Tag Suite)とは、学術情報を記述するための米国情報標準化機構(NISO)のXML規格です。

J-STAGEでは、2012年に記事情報登録時のアップロードファイルフォーマットとしてJATSのXML形式を採用しました。

■ バージョンアップ(0.4→1.1)について

J-STAGEでは2012年よりJATS 0.4に準拠したXML形式を使用してきましたが、**2019年3月24日**よりJATS 1.1に準拠したXML形式を使用します。

リリース概要

■リリース日 **2019年3月24日**

■リリース概要

1. CCライセンス対応
2. 書誌項目の追加
3. DTDの変更
4. 全文XMLの変更
5. PMC用XMLファイルとの形式一致
6. 資料のオープンアクセス設定追加
7. ISSN-Lの表示
8. 旧形式ファイルアップロード機能の廃止
9. 補足情報

■画面改修箇所

別資料の「リリースノート別紙【画面改修箇所】」をご参照ください。

1. CCライセンス対応

2019年3月24日
リリース

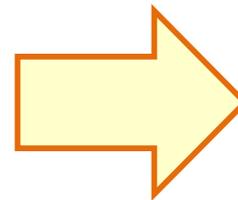
◆ 記事単位のCCライセンス設定

現行ではCCライセンスは資料単位で同一の設定しかできませんが、JATSバージョンアップ後は
記事単位で個別に設定が可能になります。

現行

サンプルジャーナルA

記事A	
記事B	
記事C	



JATSバージョンアップ後

サンプルジャーナルA

記事A	
記事B	
記事C	

※CCライセンスについての詳細な解説は以下の資料をご参照ください。

・オープンアクセス(OA)とクリエイティブコモンズ(CC)

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/openaccessandcreativecommons_160314.pdf

1. CCライセンス対応

2019年3月24日
リリース

◆ 画面表示情報の追加

a) 著作権情報との併記

現行ではCCライセンスを設定した場合はcopyright等の著作権情報は表示できませんでしたが、JATSバージョンアップ後は**CCライセンスと著作権情報の併記が可能になります。**

b) ライセンス関連情報表示

ライセンス記述、オープンアクセス規定、ライセンスURLを表示します。

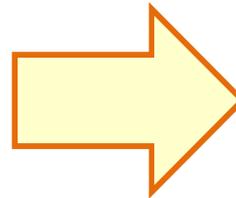
画面イメージ

現行

サンプル記事A

抄録

引用文献



JATSバージョンアップ後

サンプル記事A

抄録

引用文献

著作権情報

©2018 Japan Science and Technology Agency



この記事はクリエイティブ・コモンズ [表示 4.0 国際] ライセンスの下に提供されています。
論文に適用されるオープンアクセス条件はXXXです。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

ライセンス記述
オープンアクセス規定
ライセンスURL

2. 書誌項目の追加

2019年3月24日
リリース

◆ 追加書誌項目の一覧

以下の書誌項目が新たに入力可能になります。全て必須ではなく入力任意項目です。

情報種別	追加書誌項目	説明
ライセンス情報	ライセンスリファレンス ライセンス記述 ライセンスURL オープンアクセス規定	CCライセンスの設定に使用。 CCライセンス以外のライセンス情報も記述可。
関連文献	関連文献タイトル(英)(日) 関連文献区分 外部リンク情報	登載記事に関連する他の記事を記述。「外部リンク情報」を入力することで、公開画面上にリンク付きで表示される。
著者の国情報	著者の国名	著者の所属する国名を記述。
所属機関の国情報	所属機関の国名	機関が所属する国名を記述。
著者のメールアドレス	E-Mail	連絡著者のメールアドレスをXMLファイルから入力可能とする。
arXiv ID	arXiv ID	記事のarXiv IDを記述。
ORCID IDの認証設定	ORCID IDの認証あり	投稿審査システム等で著者自身がORCIDの認証を行っている場合のみ設定を行う。
引用文献のデータ情報	バージョン データタイトル	引用文献区分が"data(データ)"の場合のみ入力可能。

2. 書誌項目の追加

2019年3月24日
リリース

◆ 定義値の追加一覧

各書誌項目に以下の定義値が新たに入力可能になります。

書誌項目	追加定義値	備考
article-type (論文種別)	要約(abstract)、補遺(addendum)、短報(brief-report) ディスカッション記事(discussion)、ニュース(news) 講演記事(oration)、再録記事(reprint)、 データペーパー(data-paper)、その他(other)	【既存の定義値】 研究論文(research-article)、書評(book-review)、 症例報告(case-report)、訂正(correction)、 学位論文(dissertation)、論説(editorial)、 レター(Letter)、会議報告(meeting-report)、 追悼文(obituary)、速報(rapid-communication)、 返信(Reply)、取り下げ(retraction)、 総説(review-article)、翻訳(translation)
contrib-type (著者種別)	編集者(editor)、イラストレーター(illustrator) 翻訳者(translator)、研究助手(research-assistant) 査読者(reviewer)	【既存の定義値】 著者(author)
publication-type (引用文献区分)	レター(letter)、レビュー(review)、規格(standard)、 データ(data)、研究報告書(working-paper)	【既存の定義値】 雑誌論文(journal)、書籍(book)、コミュニケーション(commun)、学位論文(dissertation)、 学位論文(thesis)、ブログ(blog)、ウィキ(wiki)、 特許(patent)、レポート(report)、ウェブサイト (website)、confproc(予稿集)、other(その他)、 リンク対象外コンテンツ(unlinkable)

※追加項目、追加定義値のXMLファイルでの詳細な記述内容は以下の資料をご参照ください。

・J-STAGE XML(JATS1.1)メタデータ項目一覧

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/jstage_xml_jats1_1_metadata_list.pdf

・J-STAGE XML(JATS1.1)フォーマットガイドライン

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/jstage_xml_jats1_1_dataformat_guideline.pdf

3. DTDの変更

2019年3月24日
リリース

◆ XMLファイルに記述するDTDの変更

記事登載時に使用する全てのアップロード用XMLファイル（BIB-J、BIB-P、FULL-J、FULL-P）について、使用するDTDをJATS1.1準拠にします。

2019年3月24日のJATSバージョンアップリリース後からは、アップロードするXMLファイルのDOCTYPE宣言とarticleタグの属性値を下記の内容に必ず修正してください。

○JATSバージョンアップ後のDOCTYPE宣言とarticleタグ（JATS1.1準拠）（※）

```
<!DOCTYPE article PUBLIC "-//NLM//DTD JATS (Z39.96) Journal Publishing DTD v1.1  
20151215//EN" "https://www.jstage.jst.go.jp/dtds/1.1/JATS-journalpublishing1.dtd">
```

```
<article xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"  
xmlns:mml="http://www.w3.org/1998/Math/MathML"  
xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"  
xmlns:ali="http://www.niso.org/schemas/ali/1.0/"  
dtd-version="1.1" >
```

※赤線の部分が変更した箇所。

articleタグの任意項目である「xml:lang」(本文記事記述言語)、「article-type」(論文種別)は上記サンプルに記述していませんが、従来通り入力可能です。

4. 全文XMLの変更

2019年3月24日
リリース

◆ 全文XML 追加項目一覧

全文XMLファイル（FULL-J、FULL-P）にて、以下の項目が使用可能になります。

記述箇所	項目	備考
<front>タグ内	ファンド情報ステートメント (funding-statement)	xmlファイルでは <funding-group> 内に記述する。
	翻訳抄録(trans-abstract)	公開画面上では、抄録 (abstract)の下に表示さ れる。
<back>タグ内	注釈(notes)	
	脚注(fn-group)	
	付録(app-group)	
	用語集(glossary)	
	著者略歴(bio)	
<back>タグ内の <mixed-citation>タグ内	引用文献の注記(annotation)	

4. 全文XMLの変更

2019年3月24日
リリース

◆ 全文XML 追加修飾タグ一覧

全文XMLファイル（FULL-J、FULL-P）にて、以下のタグが<body>タグ内および<back>タグの一部の要素内にて使用可能になります。

タグ名	意味、用途
ruby	ルビ、ふりがな
code	コード (プログラミング言語のソースコード等の技術的な内容に使用)
inline-supplementary-material	補助資料への外部リンク (補助的情報等を記述した外部ファイルへのリンクに使用)
chem-struct	化学構造
alt-text	図表用テキスト (画像や図などへの説明、目的説明を提供するために使用)
long-desc	長い説明 (画像、表、図、囲みテキストなどの内容の説明すべて、または要約に使用)

※各項目の詳細な記述内容は「全文XML 作成手順書」をご参照ください。

・ J-STAGE JATS1.1全文XML利用者向けマニュアル

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/jstage_zenbun-xml_jats1_1-manual.pdf

4. 全文XMLの変更

2019年3月24日
リリース

◆ 全文XML 追加項目

<table-wrap-foot>タグ（表フッター）内及び<back>タグ内にidに関する項目を追加することにより、id属性を用いたドキュメント内リンクが可能になります。

```
<table-wrap-foot id="id_1">  
  ~  
</table-wrap-foot>
```

```
<back>  
  <fn-group>  
    <fn id="id_1">  
      ~  
    </fn>  
  </fn-group>  
</back>
```

※各項目の詳細な記述内容は「全文XML 作成手順書」をご参照ください。

・ J-STAGE JATS1.1全文XML利用者向けマニュアル

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/jstage_zenbun-xml_jats1_1-manual.pdf

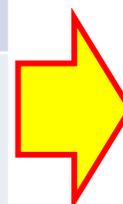
5. PMC用XMLファイルとの形式一致

2019年3月24日
リリース

◆ PMC用XMLファイルとの形式一致

現行のXMLファイルでは<name-alternatives>、<aff-alternatives>、<collab-alternatives>タグの利用方法についてPMC（※1）用XMLファイルと合わない箇所がありましたが、JATSバージョンアップ後は利用方法を一致させます。

要素	現行	JATSバージョンアップ後
name-alternatives	著者名表記が単独言語(※2)、および複数言語(※3)のどちらの場合でも必須。	著者名表記が 単独言語の場合 は 不要 。複数言語の場合は 必須 。
aff-alternatives	所属機関名表記が単独言語、および、複数言語のどちらの場合でも必須。	所属機関名表記が 単独言語の場合 は 不要 。複数言語の場合は 必須 。
collab-alternatives	利用不可。	利用可とする。グループ著者名表記が 単独言語の場合 は 不要 。複数言語の場合は 必須 。



※1.PubMed Central。米国国立衛生研究所の国立医学図書館(NIH/NLM)の生物医学および生命科学ジャーナルの全文アーカイブ。

※2.例えば著者名の記述が日本語名称のみであり、英語名称がない場合。

※3.著者名の記述が日本語名称と英語名称の両方ある場合。

6. 資料のオープンアクセス設定追加

2019年3月24日
リリース

◆ 資料のオープンアクセス設定追加

資料の認証設定に「オープンアクセス」を追加します。

公開画面上の資料の認証アイコンを「オープンアクセス / OPEN ACCESS」として表示できます。

資料の認証設定	公開画面アイコン(日)	公開画面アイコン(英)
認証あり	認証あり	RESTRICTED ACCESS
一部認証あり	一部認証あり	PARTIALLY RESTRICTED ACCESS
認証なし	フリー	FREE ACCESS
オープンアクセス	オープンアクセス	OPEN ACCESS

「オープンアクセス」設定追加

資料の認証設定に「オープンアクセス」を設定する方法は、別資料の「リリースノート別紙【画面改修箇所】」内の「2. 編集掲載システム画面改修 - 資料アクセスポリシー画面」(p.17)をご参照ください。

・https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_release_JATS1_1_appx.pdf#page=18

7. ISSN-Lの表示

2019年3月24日
リリース

◆ 公開画面にISSN-Lを表示

公開画面上にISSN-Lを表示します。

The screenshot shows the J-STAGE website interface. At the top, there are navigation links for '資料を探す', 'J-STAGEについて', and 'サポート&ニュース'. On the right, there are links for 'サインイン', 'カート', and 'JA'. The main content area is titled '情報管理' and includes a notice about the journal's status and a list of ISSN numbers: 'Online ISSN : 1347-1597', 'Print ISSN : 0021-7298', and 'ISSN-L : 0021-7298'. The ISSN-L number is highlighted with a red box. Below this, there are buttons for 'ジャーナル', '査読', 'オープンアクセス', and 'HTML'. At the bottom, there is a search bar with a dropdown menu for '過去の巻号を選ぶ' and a '検索' button.

ISSN-L : 0021-7298

ISSN-Lとは、Linking ISSNの略称です。詳細は以下のWebページをご参照ください。
<http://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html#anchor10> (国立国会図書館のページ)

8. 旧形式ファイルアップロード機能の廃止

2019年3月24日
リリース

◆ 旧形式（BIB、SGML）ファイルアップロード機能の廃止

旧BIB形式・SGML形式のファイルアップロード機能は、3月24日のJATSバージョンアップリリースと同時に廃止します。

旧BIB形式・SGML形式ファイルのアップロード機能を使用している場合は、2019年3月までにアップロードファイルの形式をXML形式に移行するか、または登載方法をWeb登載方式に切り替えるかの対応を必ず行ってください。

旧BIB形式・SGML形式からXML形式あるいはWeb登載への切り替えの際には、以下のURLより「J-STAGE データ形式変更申告書」をダウンロードの上、J-STAGE センター宛て (center@jstage.jst.go.jp) にご提出ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/InformationForSocieties/TAB1/-char/ja>

【廃止するファイル形式】

- BIB1.4 形式
- BIB2.1 形式
- SGML 形式

詳細は以下の資料をご参照ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/bib_sgml_haishi.pdf

9. 補足情報

① ダウンロードXMLファイルの形式

編集登載システムからダウンロードするXMLファイルは**全てJATS1.1形式**になります。

② 全文HTMLの公開画面の注意点

JATSバージョンアップ対応のリリース後にJATS1.1形式のXMLファイルでアップロードされた記事のみ、JATS1.1対応の画面表示になります。

JATSバージョンアップ前に公開が済んでいる記事、および編集登載システムへアップロードが済んでいる記事については、バージョンアップ後も全文HTMLの表示内容は変更されません。

例えば翻訳抄録（trance-abstract）が記述された全文XMLファイルをJATSバージョンアップ前に公開していた場合、JATSバージョンアップ後に該当記事の翻訳抄録が公開画面の全文HTML画面上に自動的に表示されようになる、ということはありません。

③ XMLファイル形式の下位互換

JATSバージョンアップ後でも、当面の間（時期未定）は既存の**JATS0.4形式のXMLファイルは使用可能**とします。ただし、JATS0.4形式のXMLファイルにはJATSバージョンアップ対応で追加する項目は記述できません。

9. 補足情報

④ 書誌XML作成ツールの対応

書誌XML作成ツールもJATSバージョンアップ対応を行います。

「2. 書誌項目の追加」の内容は、書誌XML作成ツールでも同様の対応を実施します。

書誌XML作成ツールの対応内容について、以下のリリースノートをご参照ください。

https://xmltool.jstage.jst.go.jp/release_xmltool_jats_20180324.pdf

9. 補足情報

【重要】（2019/4/19 更新）

⑤ JATS0.4形式での記事アップロード時にCCライセンスが非表示になる事象について

2019年3月24日以降、JATS0.4形式のXMLファイルを使用して記事一括アップロードを行った場合、資料に設定したCCライセンスがアップロードした記事に設定されず、結果記事公開後にCCライセンスが非表示になる事象が確認されております。

（2019年4月19日時点で上記の事象に該当する記事に対しては、JSTにてCCライセンスを表示されるようデータ修正を実施済みです。）

本事象はJATS1.1形式のXMLファイルを使用することで解消可能です。

大変お手数ですが、CCライセンスを設定する資料については記事一括アップロードを行うXMLファイルの形式は必ずJATS1.1形式にしてください。

XMLファイルの形式をJATS0.4形式からJATS1.1形式に変更するには、ヘッダー部分の情報（DOCTYPE宣言とarticleタグの属性値）を修正するだけで対応可能です。

詳細は本資料の「[3. DTDの変更](#)」（7ページ）をご参照ください。

9. 補足情報

本件に関する質問等は下記までお問い合わせください。

JST（科学技術振興機構）情報基盤事業部
東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ
J-STAGE センター

メールアドレス：center@jstage.jst.go.jp